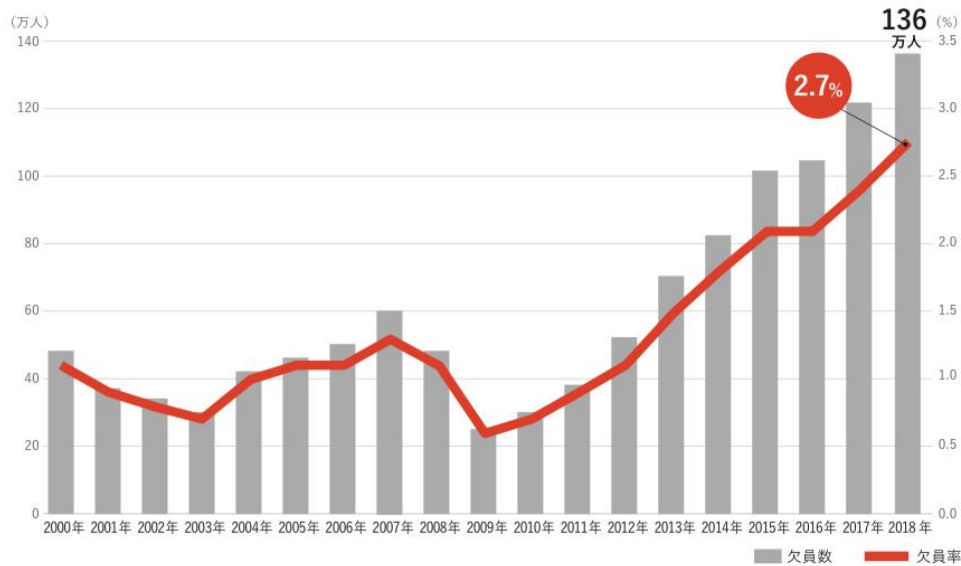


足元の人手不足の状況

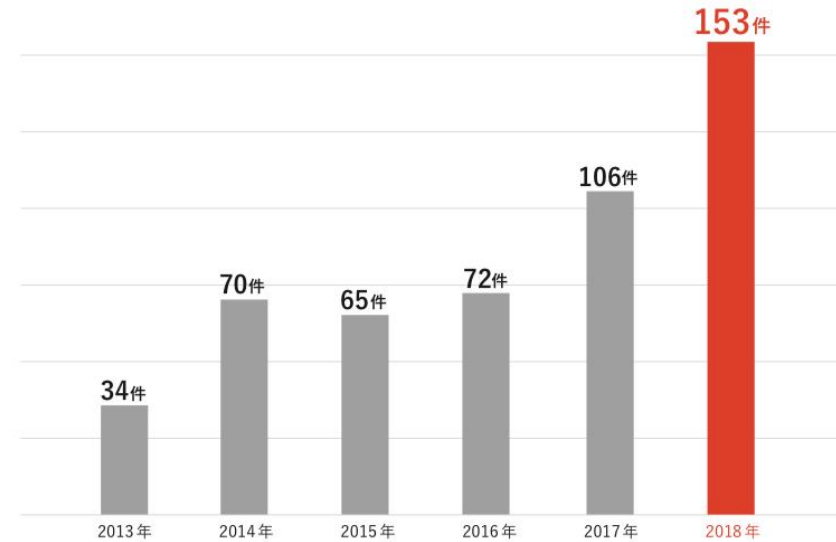
欠員率（常用労働者に対する未充足求人*の割合）はバブル崩壊以降最高の2.4%を記録し、欠員数は121万人に上る。

帝国データバンクによると、従業員の離職や採用難等により収益が悪化したことなどを要因とする倒産、いわゆる「人手不足倒産」は2018年の1年間で153件発生。前年比44.3%の大幅増、3年連続の増加で、2013年の調査開始以降の最多を更新した。

欠員数・欠員率の推移



人手不足倒産の件数



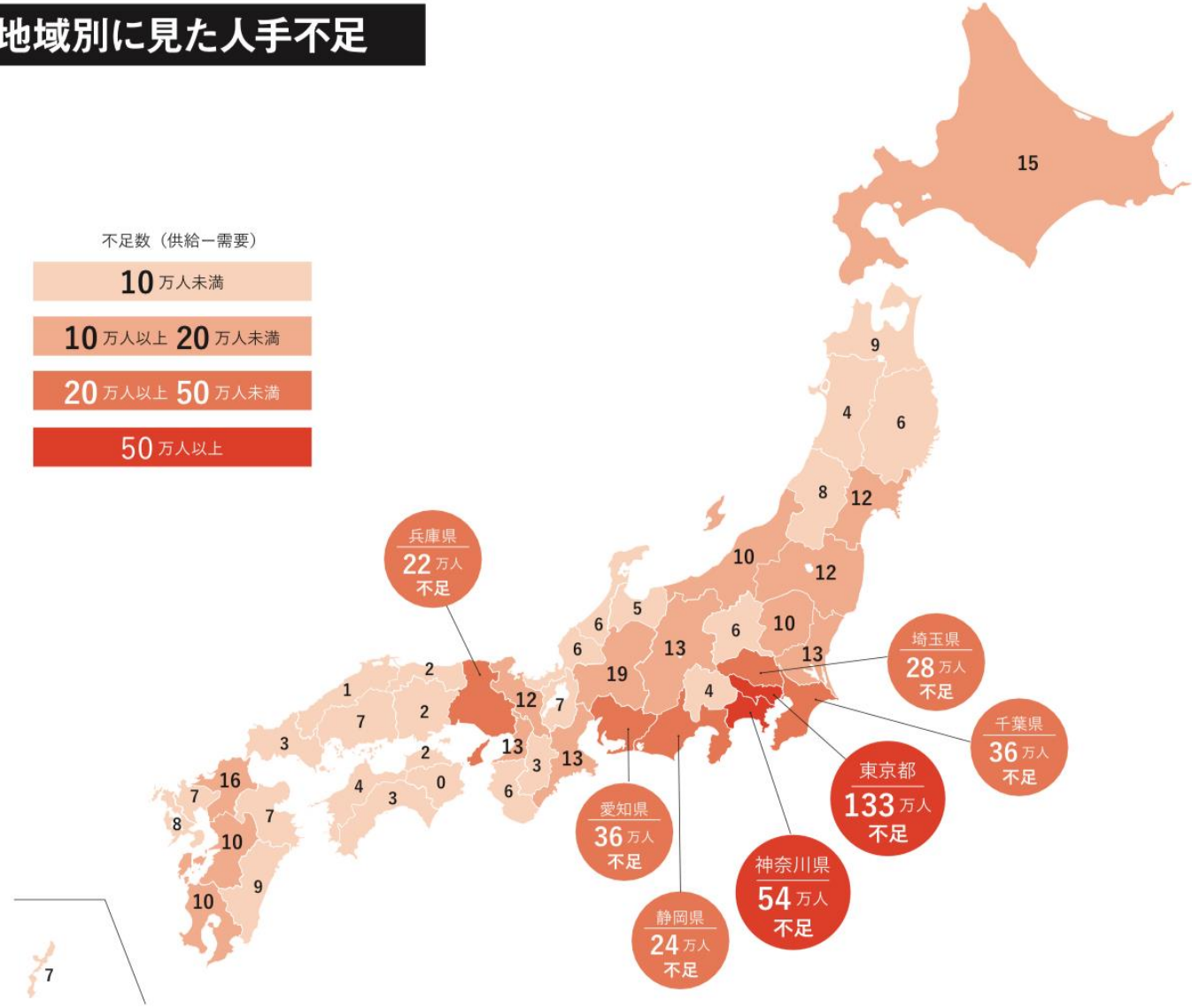
*未充足求人：事業所における欠員であり、仕事があるにもかかわらず、その仕事に、従事する人がいない状態を補充するために行っている求人
出所：厚生労働省 「雇用動向調査（2018年上半期）」、帝国データバンク「「人手不足倒産」の動向調査（2019年1月）」

2030年にどのくらいの人手不足となるか？



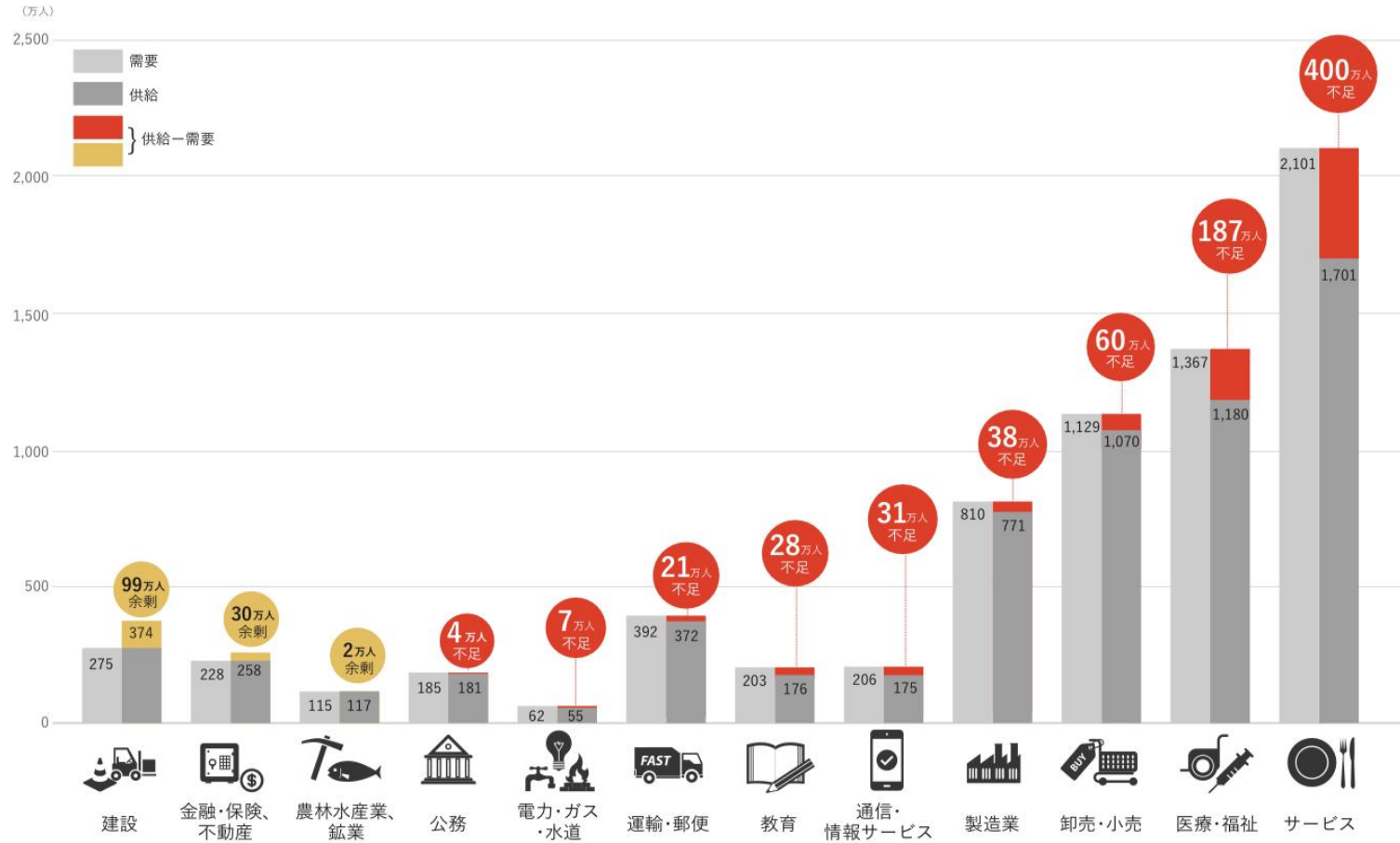
地域別に見た人手不足

不足数（供給－需要）



2030年にどのくらいの人手不足となるか？

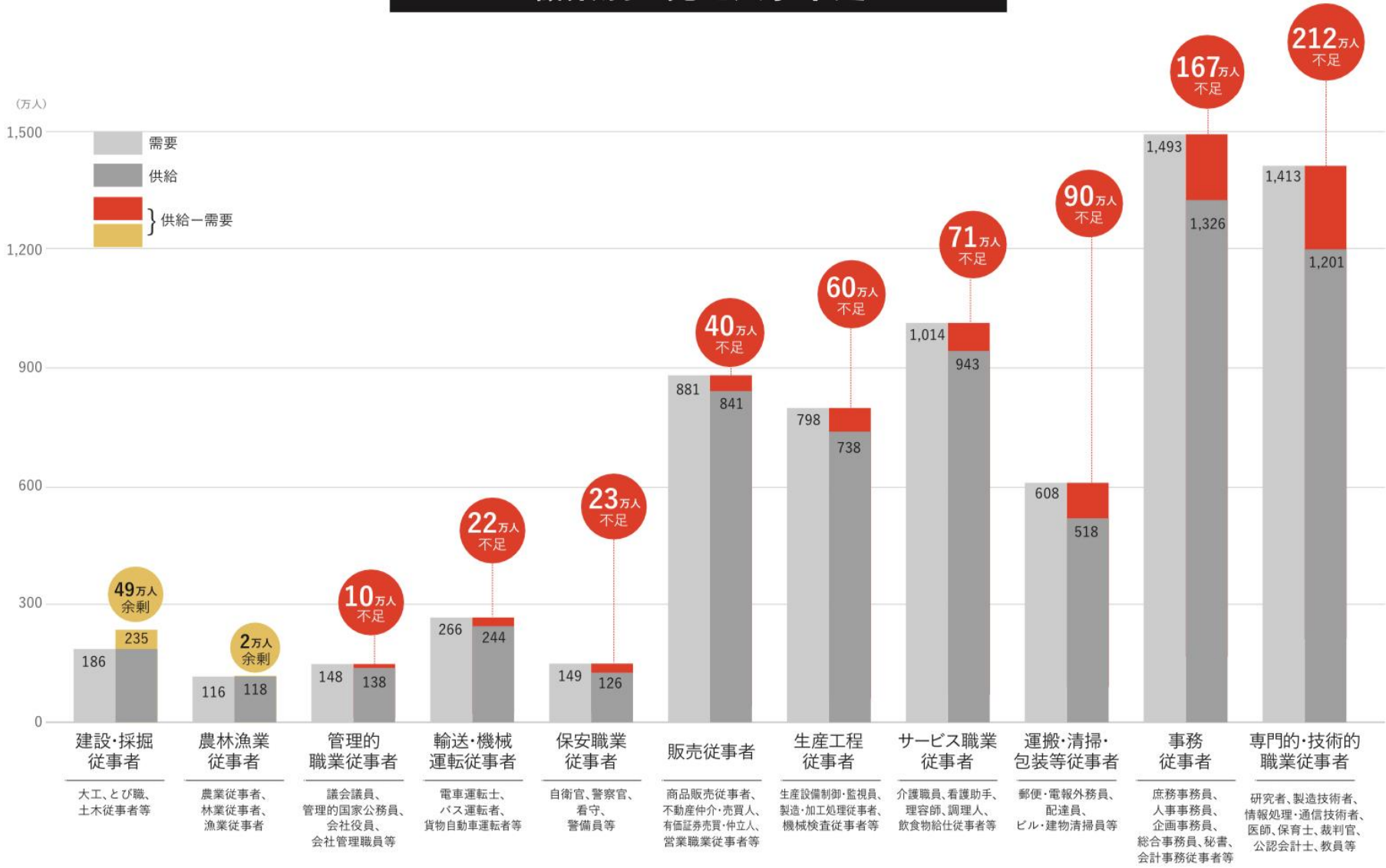
産業別に見た人手不足



労働需要 日経センター「第44回 中期経済予測」における産業別実質国内生産額の2030年予測値から産業別のGDP予測値を計算。2010年以降の生産性向上ベースが2030年まで続いたと仮定し、GDPをその生産性で割って産業別の需要を算出。

労働供給 国民経済計算における2007年以降の産業別就業者数の増減ベースが2030年まで続いたと仮定し、産業別の就業者数シェアを算出。そのシェアを全体の労働供給に乗じて、産業別の労働供給を算出。

職業別に見た人手不足



※2017年労働力調査より、産業別の職業別就業者数シェアを取得。前述の産業別の労働需要・供給に産業別・職業別就業者数シェアを乗じ、職業単位で合算して職業別労働需要・供給を算出。